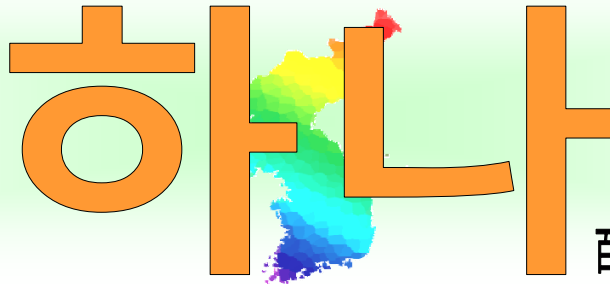


2017年 10月号
通巻 184号

発行所
岩手県盛岡市中央通3丁目8-16
電話019-651-0810
FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター



百歳を迎えた張得瑞さんと息子さん夫婦(9/11)

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ songsu75@yahoo.co.jp

第22回強制連行犠牲者追悼式

9月11日、22回目となる強制連行犠牲者追悼式が滝沢市の岩手県産業文化会館（アピオ）内の追悼碑の前で挙行された。

今年も県内在住の同胞と「追悼碑管理委員会」関係者をはじめ県下各界の日本の方々に参加をいただいた。

追悼式は樋下正信「追悼碑管理委員会」委員長による式辞のあと総聯代表、民団代表、県知事（代読）が追悼のことばを捧げた。そして参加者全員による献花で閉式となった。



百歳長寿を祝う！

久慈にお住まいの張得瑞さんが今年100歳を迎えられた。張さんをご高齢ながら身の回りの事はご自分でなさり健康に過ごされているとの事。

朝鮮総聯中央本部は百歳を迎えた同胞を毎年9月の＜同胞敬老の日＞にちなんでお祝いしているがこのたび張さんに記念の楯と＜祝い金＞が送られた。9月11日、総聯県本部の崔成守委員長、姜元鎬副委員長、女性同盟県本部曹貞喜委員長が張さんを訪ね、総聯中央許宗萬議長名義の祝賀メッセージが記された記念盾と＜祝い金＞、女性同盟が準備した記念品を丁寧に伝達した。

崔委員長は＜これからも元気で長生きしてください。＞とますますの長寿を祈念した。張得瑞さんと長男の禹漢英さんは＜総聯中感謝を伝えてください。＞とお礼述べた。



時事コラム <圧迫がもたらしたもの>

「火星12」型発射訓練が行われた直後、トランプ大統領は朝鮮への対応について「対話は答えではない」とツイートした。感情任せの即興発言は、オバマ時代の「戦略的忍耐」を否定し、新政策として打ち出した「最大の圧迫と関与」の破たんを大統領自らが認めたようなものだ。トランプ政権は、朝鮮を対話の場につかせるために「最大の圧迫」を加えるとしてきた▼最近、オバマ政権時の官僚からは、米国の対朝鮮政策が機能していないと非難の声が上がっている。前国務次官補は「我々はこれまで見たことのない外交方式を進める必要がある」と主張した。前国家情報局長は、朝鮮への軍事的対応はあり得ないとしながら、「現在の悪循環から抜け出すためには、我々自身が強硬な発言を慎まなければならない」と現職大統領を戒めた▼トランプ式恫喝が朝鮮に通用しないことは、ICBM試射以降の一連の出来事によってさらに明確になっている。朝鮮は自ら立てたスケジュールに沿って核戦争抑止力強化のための措置を講じている。制裁と圧力が強まるほど、朝鮮の対応レベルは高まっている▼緊張のエスカレーションを止める方法は、米国が態度を改め、朝鮮に対する挑発行為をやめることだ。朝米間に有効な対話が成立するかどうかは、トランプ政権の決断にかかっている。オバマの二の舞を演じている大統領が自分の愚かさを悔い恥じて、米国の対朝鮮政策を大胆に転換すべきだ。(永) (朝鮮新報 春夏秋冬より転載)

いもじょも掲示板

■茨城朝鮮初中高級学校

オープンスクール

日時 : 10月8日(日) 9:30~15:00
内容 : 公開授業、学習発表、講演会 等

■県南支部 情勢講演会

日時 : 10月18日(水) 14時~
会場 : 北上ホルモン店
※講演会終了後、<県南会>を開催します。

■ウリ信 東北地区ゴルフ大会

日時 : 10月23日(月) 8時10分集合
会場 : 東蔵王GC
宮城県柴田郡川崎町川内字西山8
TEL 0224-84-2350

プレー費 10,300円(税込)

参加費 : 3,000円

※詳しくはウリ信岩手出張所に問い合わせください。

■第8回北東北青商会チャリティー ゴルフコンペ

日時 : 10月25日(水) 7時集合
会場 : 南秋田CC
〒010-0122
秋田市金足吉田字浅田1-1
TEL 018-873-3824

参加費 : 10,000円
(プレー費等各自負担)

ドクターカンの 健康講座

第173回 『乳がん』

乳がんは日本人女性で一番多く発症するがんであることは皆さんすでに承知です。

従って早期発見のためには現状では検診が大事です。

検診にはマンモグラフィに超音波検査を併用するとがんの発見率が高くなります。特に若い人や太っている人は超音波検査が有効です。

最近遺伝子検査が話題ですね。乳がんの5~10パーセントは遺伝性で血液から調べます。血縁者に乳がんや卵巣がんを発症した人がいるなど、遺伝性乳がんを発症する確率が高い人が対象となります。しかし検査でプラスとなっても必ずしも乳がんを発症するわけではありません。乳がんの治療はやはり手術が主体ですが発見時にはすでに浸潤していることが多いため手術後に薬を併用することが多くなります。

乳がんはホルモンや特殊なたんぱくなどでがん細胞増殖のしかたにより5つのタイプに分かれます。そしてホルモン剤、分子標的治療薬、抗がん剤などを、単独又は組み合わせでその人に合った最適な治療が選択されます。それぞれの薬にはやはり副作用がありますが、やわらげる治療も沢山あります。新しい遺伝子などの検査や、再発した乳がんに効く薬なども開発されていますが、最初に話したように現状では検診による早期発見が最善の治療法です。

良い天気の日には外を歩きましょう。

(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)